

第2回 麻生区地域デザイン会議 開催結果概要

日時：令和4年11月3日（木・祝）13:00～16:00

場所：麻生区役所 4階 第1会議室、現地調査

参加者：23名

1 開会

区長から挨拶



2 内容説明

麻生区役所企画課から資料説明

3 現地調査（13:30～14:30）

3班に分かれて調査

1班 上麻生隠れ谷公園

2班 万福寺おやしる公園

3班 万福寺檜山公園



4 ワークショップ（14：35～16：00）



ワークショップの様子



ワークショップ結果発表の様子

（1班）上麻生隠れ谷公園

ア ワークショップ中に話のあったこと

- ・子ども達がよく利用しているので小学校にチラシ等を配布してここにきてもらう必要があったのでは。
- ・実際に公園を利用している方々にヒアリング等を行うことが大事。
- ・小学校に近接しているので、小学校と連携したイベントができるとよい。
- ・新しい利用者と呼ぶよりも、既存の利用者の満足度を上げたい。
- ・近くの山口白山公園の竹を使って、横浜の竹行灯祭りのようなものを作りたい。
- ・竹を使ったイベントなら、山口白山公園から竹を切出し、運搬すればよい。
- ・子どもが多い公園なので、子ども向けのイベントをしたい。
- ・イベントをするとすると、経験上当事者にならないと参加率が悪いので、地元の子どもの自身が企画・運営するような構造が良いと思う。
- ・竹切り＋落ち葉→焚火→焼き芋という流れでイベントしたい。美味しくなくてもいいので、今の子どもには自分で起こした焚火で焼いて食べるという体験をしてほしい。（焚火の体験）
- ・今後の整備について、この公園の特徴やテーマ（広場、森、水など）を見出して、そこに特化した公園にしていくことで様々な人が集まるようになるのではないか。（公園の機能分担）
- ・アートと結びつけるのも良いかも。
- ・多目的広場周囲のフェンスに落書き用の板（黒板塗料を塗布したものやアクリル板等）をいくつか吊るしておき、子どもたちが自由に落書きできると楽しいと思う。（こどもの国の路面キャンパスの事例から発想）
- ・広場のコンクリ壁にも地元の映画大学の学生にアートを描いてもらうと多様な主体（特に若者）の参画につながると思う。
- ・アートも「自由に落書き出来るゾーン」と「学生や専門の方に描いてもらった展覧ゾーン」に分けるとより良い。

イ 班の取りまとめ



■ 利活用に向けどんなことができるか

- ・公園の樹木を使った枝打ち作業体験、藤棚上にツリーハウスなどができれば面白いのでは。
- ・イベントとしては、「(子どもと行う) お祭り」、「巨大迷路」、「キッチンカー」、「花火大会」などができると楽しいと思う。
- ・使い方として、「地域交通拠点」「レンタル自転車駐輪場」などとして使ってもよい。
- ・東屋の増設。
- ・フェンスを使ってアート作品展示や落書き掲示板の設置。
- ・竹ぼうき作り→掃除→落ち葉かき→焼き芋/餅/団子/大鍋調理、といった一帯のイベント

■令和5年1～2月へのお勧め案：『ENJOY 隠れ谷！！』

・何を実施するのか

フェンスを使ってアート作品展示、
竹ぼうき作り→掃除→落ち葉かき→焼き芋/餅/団子/大鍋調理

・選定理由

現在公園を利用している人達と共同に楽しめる
実現しやすく、手軽にできる（地産地消）

・誰と実施するのか

近隣住民及び公園利用者
地域の学生、アーティスト等

・誰をターゲットとするのか

近隣住民及び公園利用者
地域の学生、若者

・その他（必要な準備など）

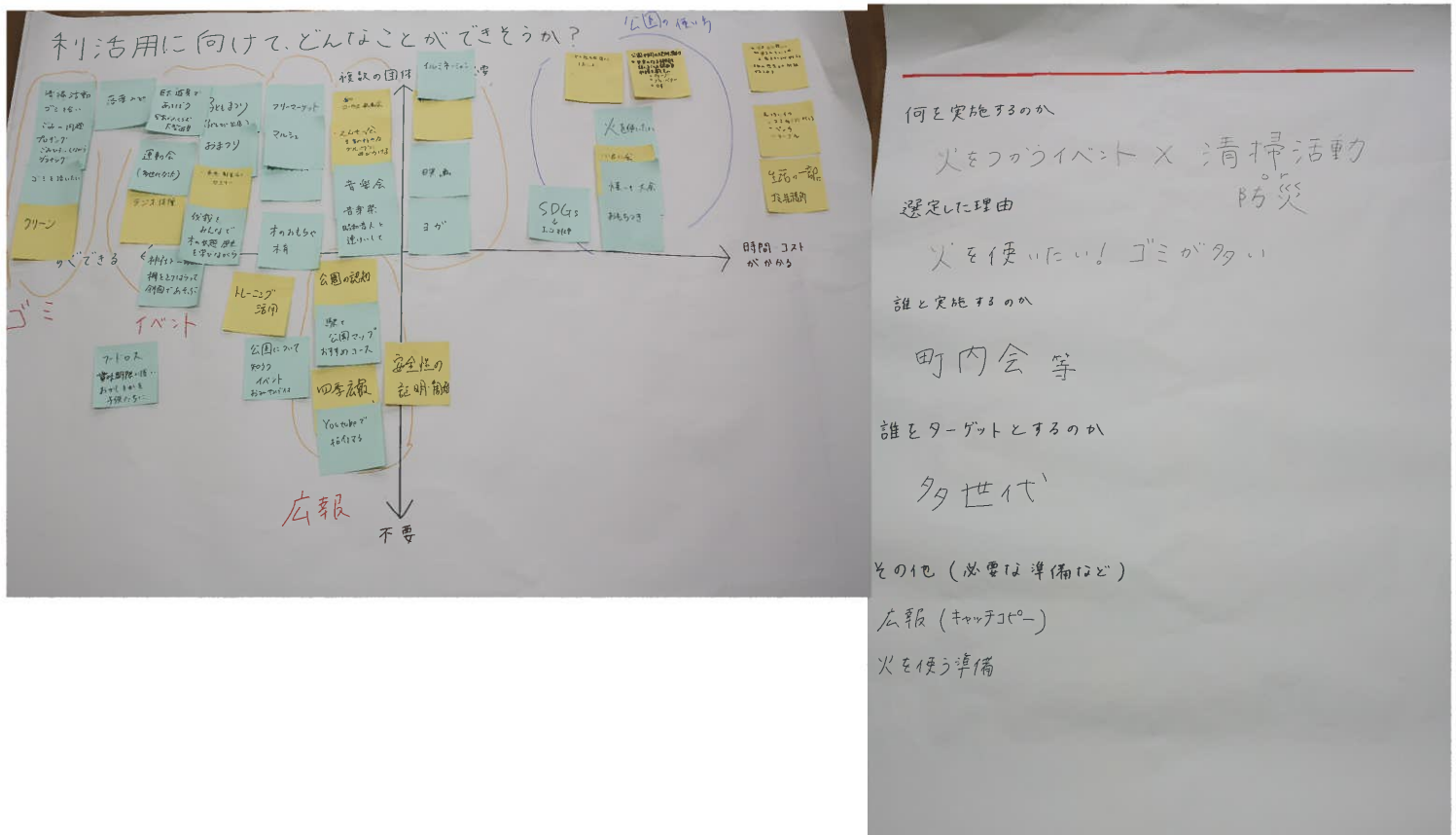
竹ぼうき（山口白山公園にて竹調達）
アートボードの準備

(2班) 万福寺おやしる公園

ア ワークショップ中に話のあったこと

- ・「川崎市では公園内で火気使用ができない」と聞いていた。
- ・川崎市では「公園に果実のなる樹木は、住民が勝手に収穫してしまいトラブルになるから認めていない」と聞いていた。
- ・近くに住んでいてもこんな公園があることを知らなかったもっとアピールする方法を考えたい。
- ・ゴミや落ち葉集めをする目的だけでは人が集まらない「おみやげ」付のイベントにしないとだめ。
- ・多世代が参加できるイベントを考えたい
- ・維持管理をすると希少な植物が復活するなど楽しみや喜びがあることを伝える観察会をしたい。

イ 班の取りまとめ



■ 利活用に向けどんなことができるか

- ・ゴミが目立つことから、ゴミ拾いと何かを別のイベントを掛け合わせることでよいと思う。
- ・公園があること自体知られていないから、公園自体の存在を周知するためのマップ配布や、イベント広報をしっかりとやれるとよい。

- ・ イベントとしては、「マルシェ」、「フリーマーケット」、「(子どもと行う) お祭り」、「巨大遊具あそび」、「斜面を活用した遊び」、「焼き芋・芋煮(火を使う)」などができると楽しいと思う。
- ・ 連携団体としては、昭和音大などの芸術系大学や、町会(子ども会)などと連携できるとよい。

■ 令和5年1～2月へのお勧め案：『(キャッチコピー決定できず)』

- ・ 何を実施するのか
 (火を使うイベント) × (清掃活動・防災)
- ・ 選定理由
 火を使いたい、ゴミが多かったことによる
- ・ 誰と実施するのか
 町内会など
- ・ 誰をターゲットとするのか
 多世代
- ・ その他(必要な準備など)
 広報(キャッチコピー作成)、火を使う事への準備

(3班) 万福寺檜山公園

ア ワークショップ中に話のあったこと

- ・公園の樹木観察や探検をしたらどうか。冬は葉がなく樹木を見てもつまらないこともあるが、樹木の樹皮や冬芽に着目した図鑑もある。普段あまり気にしない冬の姿の樹木を観察するのも面白い。
- ・冬は遠くまで見通せる。弘法の松から檜山公園を見てみたら、すばらしい景観が広がるのではないか。地域の歴史や植生に詳しい専門家に来てもらうのもよい。
- ・万福寺檜山公園のほかに、万福寺おやしる公園や上麻生隠れ谷公園も含めたイベントがよい。
- ・子どもたちが参加できるイベントがよい。
- ・みんなで樹名板を取り付けるのはどうか。

イ 班の取りまとめ

多目的利用に向けて、どんなことができそうか?

複数の団体と連携が必要

みんなが楽しむ公園めぐり

何を実施するの?

選定した理由

誰と実施するの?

誰とターゲットとするの?

その他 (必要な準備など)

■利活用に向けどんなことができるか

- ・樹木の整備が行き届いていないので、樹木伐採講座などできたらよいのでは。また、標識も劣化して見えなくなっている。
- ・あまり利用されていない休憩場所整備の廃止をしてもよいのでは。
- ・イベントとしては、「落ち葉のアート作り」、「お花見とマルシェ」、「宝探し」、「斜面を活用したすべり台作成」、「キッチンカー」、「展望台作成」などができると思う。

■令和5年1～2月へのお勧め案：『みんなで楽しむ公園めぐり♥♥』

- ・何を実施するのか
公園巡り、冬の見晴らし（新百合の特徴）、生息している樹木の名札付け
- ・選定理由
冬の季節を活用して親子で楽しみながらできる
- ・誰と実施するのか
樹木知識に長けている方、区役所など
- ・誰をターゲットとするのか
誰でもOK

5 まとめ

- ・各班の発表のとりまとめ